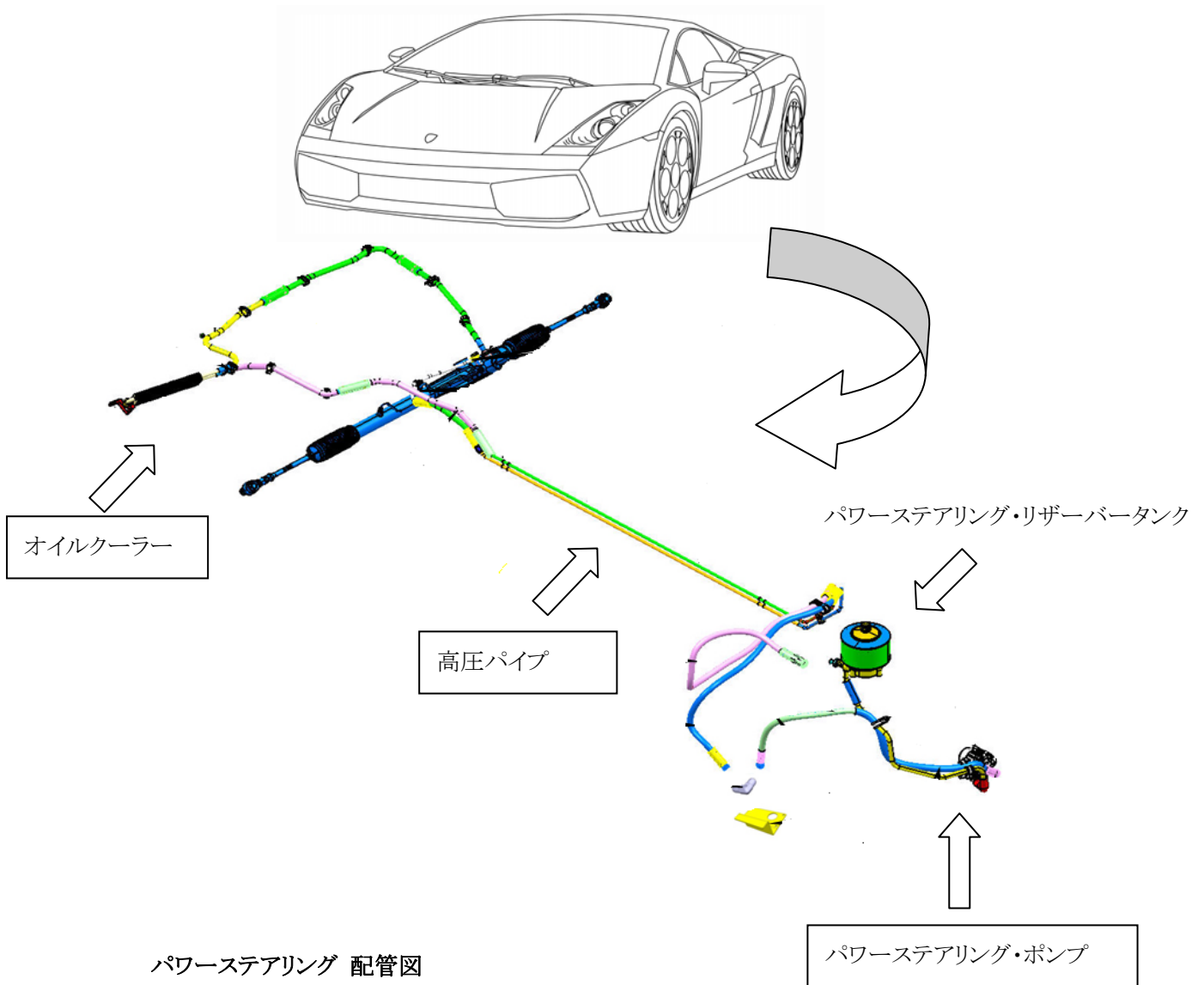


改善箇所説明図①



注： は交換部品又は追加部品を示す

基準不適合発生箇所

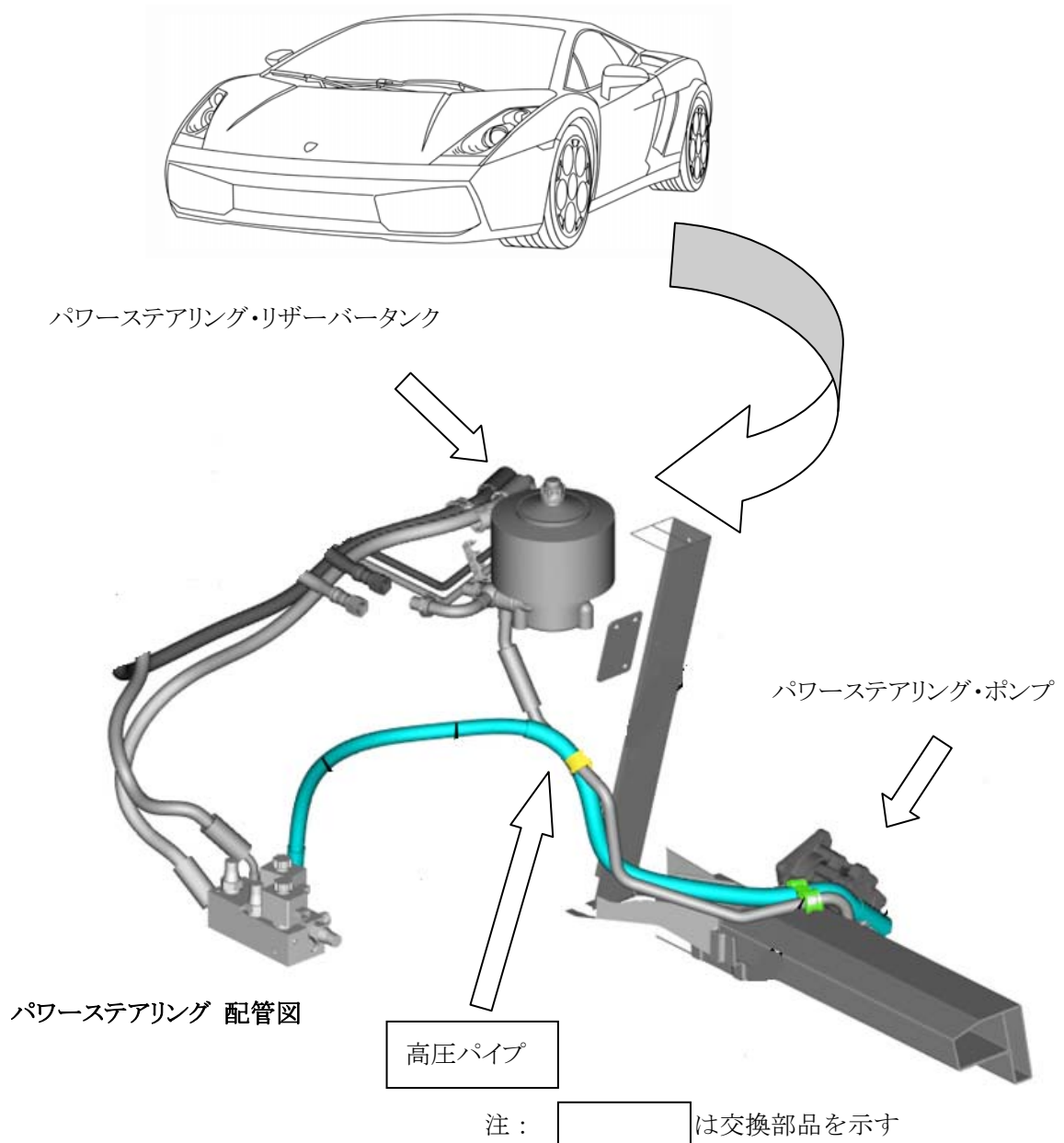
パワーステアリング装置に使用されている高圧パイプの材質が不適切なため、長期間使用すると水及びパワーステアリングオイルの油温・油圧の影響により、高圧パイプに小さな穴が開き、パワーステアリングオイルが漏れてパワーステアリングの性能が低下することがある。オイル漏れの発生場所がエンジンの排気管等の高熱部品に近い場合、高熱部品に付着したオイルにより発煙し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、パワーステアリング装置の高圧パイプとポンプを対策品と交換し、新たにオイルクーラーを取り付ける。

識別: 作業後、パワーステアリング リザーバータンクキャップへ黄色の識別ペイントをする。

改善箇所説明図②



基準不適合発生箇所

パワーステアリング装置に使用されている高圧パイプの材質が不適切なため、長期間使用すると水の影響により高圧パイプに小さな穴が開き、パワーステアリングオイルが漏れてパワーステアリングの性能が低下することがある。オイル漏れの発生場所がエンジンの排気管等の高熱部品に近い場合、高熱部品に付着したオイルにより発煙し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、当該パワーステアリング装置の高圧パイプの一部を対策品と交換する。

識別: 作業後、パワーステアリング リザーバータンクキャップへ黄色の識別ペイントをする。